

日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座 商会 No.16【リース会計】

収録日：平成 25 年 9 月 8 日

【出題実績】

日商簿記 1 級過去問 122 回商業簿記、125 回（減損込）、132 回商業簿記
全経簿記上級過去問 164 回商業簿記

	検定簿記講義(商簿)	サク	スッキリ	教科書
ページ数	9	27	31	
ファイナンスリース	○	◎	◎	
貸し手の処理	×	◎	◎	
セール&リースバック	△	×	◎	
年金原価係数での処理	△	◎	◎	

◎説明あり、例題あり ○説明あり、例題弱い、△説明弱い、例題あり、×説明弱い、例題弱い
（「弱い」は「ない」を含みます）

リース取引に関しては、各テキストとも詳細論点まで説明があります。
しかし、本試験での詳細論点は日商簿記 1 級 119 回にて「貸し手の処理」が問われたくらいで、
通常はファイナンスリースのオーソドックスな問題が多いです。
あえて申し上げますと、セール&リースバック論点の確認をテキスト等でしておけば十分だと思います。

リース

論点はファイナンスリース（売買取引に準じる）のみ（オペレーティングリースは

ファイナンスリースの判定基準

ノンキャンセラブル（契約から判断）

&

フルペイアウト（2つの基準のいずれかで判定）

現在価値が90%以上・・・ほとんど買ったに等しい

OR

解約不能期間・・・経済的耐用年数の75%以上（ほとんど解約できない）

{	所有権移転	自分のものになる（完全な売買）	∴残存価額あり
	所有権移転外	期間終了後に返す（何も残らない）	∴残存価額なし

様々なテキストに掲載されている下記の図をいかに覚えるか？イメージできれば案外簡単

貸し手の購入価格ってわかるのか？（契約によっては、わかります）

わかって、なおかつ最後に自分のもの・・・これは売買でしょう

わかっちゃいるけど、最後は返す

わからないのが普通。

この時は「いくらくらいだろう？」と想定

リース料総額の割引現在価値と比較

		所有権移転	所有権移転外
貸し手の購入価額等が	明らか	貸し手の購入価額等	①貸し手の購入価額等 ②リース料総額の割引現在価値 ①・②どちらか低い方
	わからない	①見積現金購入価額 ②リース料総額の割引現在価値 ①・②どちらか低い方	

所有権移転の指示：割安購入選択権あり・所有権移転条項あり・特別仕様

試験での論点は

- ①契約締結時
 - ②リース料支払時
 - ②決算時
- の3点だけです

では、問題を解いてみましょう

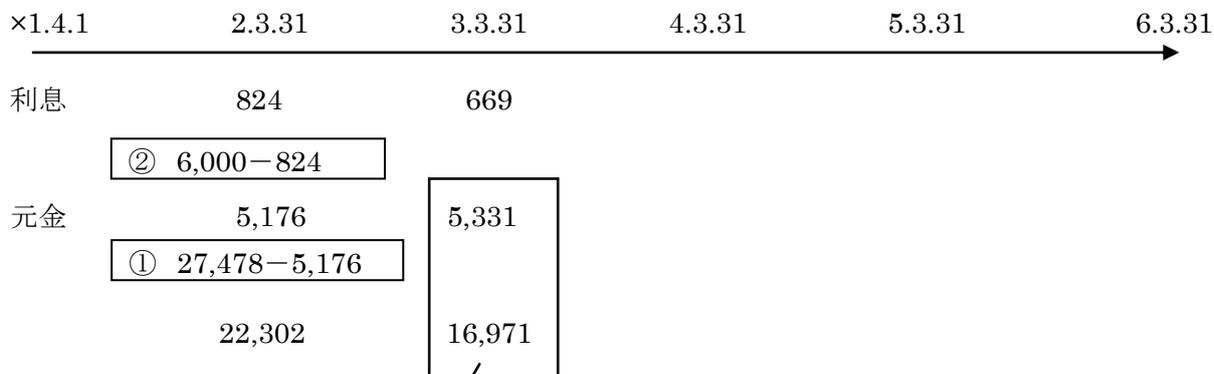
設問

さくら社は、平成×1年4月1日に、ススキ社と備品のリース契約を締結した。このリース取引は所有権移転外ファイナンス・リース取引である。
以下の資料にもとづき、下記の問いに答えなさい。

●資料●

- (1)リース料は毎年3月31日に6,000ずつ支払う。
- (2)リース期間は平成×1年4月1日から5年間である。
- (3)備品の見積現金購入価額は28,000円である。期間経過後にリース会社に返却する。
- (4)備品の経済的耐用年数は7年、残存価額は取得原価の10%、減価償却方法は定額法を採用する。
- (5)リース料総額の現在価値は年3%で割り引いた金額とする。
- (6)計算の過程で円未満の端数が生じる際は、その都度円未満を四捨五入すること。

- ①取得時の仕訳を行いなさい
リース資産 27,478 / リース債務 27,478
- ②初回のリース料支払時の仕訳を行いなさい
リース債務 5,176 / 現預金 6,000
支払利息 824
- ③2.3.31 決算時の仕訳を行いなさい。
減価償却費 5,496 / 減価償却累計額 5,496



- ① まず帳簿価額の計算
- ② 利息を計算して、支払額から利息を引いて元金を計算
- ③ 減価償却費の計算

※翌年の返済元金が流動負債

流動負債	5,331
固定負債	16,972

※リース資産もリース債務も正常営業循環ではないので1年基準でわかる

ここからはダウンロード講座向けです

(年金現価係数が与えられている場合)

年金現価係数って？ (以前にも解説しましたが・・復習の意味です)



1年後の 50,000 円は現在 48543.6 円
2年後の 50,000 円は現在 47129.7 円
3年後の 50,000 円は現在 45757.0 円

では毎年 50,000 円の金利収入あれば、合計の現在価値は？
3%で 3 年の年金現価係数をみて下さい

	2%	3%	4%
1 年	0.9804	0.9709	0.9615
2 年	1.9416	1.9315	1.8861
3 年	2.8839	2.8286	2.7751

さらに毎年 10,000 円の金利収入あれば、合計の現在価値は？

さきほどの問題を年金原価係数を使用するパターンで処理してみよう

設問

さくら社は、平成×1年4月1日に、ススキ社と備品のリース契約を締結した。このリース取引は所有権移転外ファイナンス・リース取引である。
以下の資料にもとづき、下記の問いに答えなさい。

●資料●

- (1)リース料は毎年3月31日に6,000ずつ支払う。
- (2)リース期間は平成×1年4月1日から5年間である。
- (3)備品の見積現金購入価額は28,000円である。
- (4)備品の経済的耐用年数は7年、残存価額は取得原価の10%、減価償却方法は定額法を採用する。
- (5)リース料総額の現在価値は年3%で割り引いた金額とする。
- (6)計算の過程で円未満の端数が生じる際は、その都度円未満を四捨五入すること。
- (7)年金原価係数は次のとおりである。

	2%	3%	4%
1年	0.9804	0.9709	0.9615
2年	1.9416	1.9315	1.8861
3年	2.8839	2.8286	2.7751
4年	3.8077	3.7171	3.6299
5年	4.7135	4.5797	4.4518

リース料支払い時の仕訳を行いなさい

	×1.4.1	2.3.31	3.3.31	4.3.31	5.3.31	6.3.31
	→					
利息		825	669			
		③ 6,000－5,175				
元金		5,175	5,331			
		② 27,478－22,303				
		27,478	22,303	16,972	11,481	5,825

- ①まず1年4月1日の現在価値から2年3月末の現在価値を引き元金の減少額を計算
- ②そして、返済額（元利合計）から元金を引いて利息を算出
- ③これを繰り返す。

※翌年の返済元金が流動負債

流動負債	5,331	5,491	5,656	5,825
固定負債	16,972	11,481	5,825	

では、最後に日商132回と全経164回の過去問の解説を行います(各7分程度で実施して下さい)